

～ ここにも活かせるエルメス技術 ～

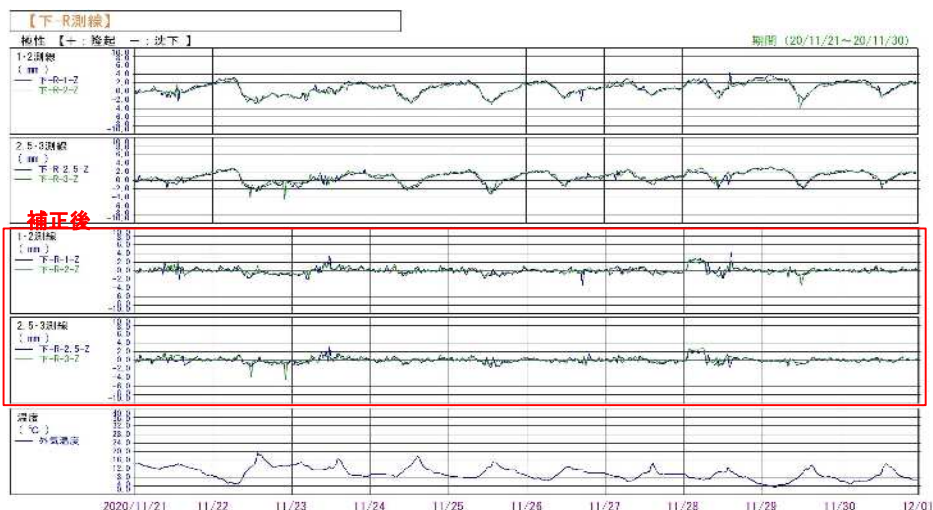


ノンプリズム型トータルステーションによる 路面変状計測管理

Electronic
Instrument

	山岳トンネル／地下構造	シールドトンネル	地盤／山留め	基礎／ケーソン
○	近接施工	斜面防災	コンクリート構造	ダム・メンテナンス
	鉄道関連	○ 道路関連	橋梁関連	エネルギー関連

- ◆ 概要
供用中の道路の直下に新設構造物を構築する工事では、一般車両通行の安全確保を目的として路面沈下量を把握しながら施工を進める必要があります。
自動追尾型トータルステーションのノンプリズムモードにより路面までの距離を計測し、その変化から沈下量を算出します。
- ◆ 計測値の補正について
ノンプリズムで広範囲をするためには高い計測架台が必要ですが、その分温度影響を受けて変動幅が大きくなります。影響範囲外に設けた基準点の変動を温度変化による自然変動と考え、計測点の変動を補正します。
補正値＝測点の変位－（基準点の変位× α ＋ β ）
※ α 、 β ：補正係数。事前計測期間のデータから算出します。



- ◆ 特徴
 - 道路にはマーキングを施します。
施工が容易な他、一般車両の通行に支障がありません。
 - 気象データ（温度・湿度・気圧）を取得し、測距値を補正します。
 - リアルタイムの計測が可能です。
- ◆ 仕様
 - 自動追尾型トータルステーション
SOKKIA製 NET05AX II 使用
 - ウェザーステーション（気象データ取得用）
 - パソコン（データ収集用）
 - 無停電電源装置（電力安定用）

マーキング設置状況



計測架台状況写真



お問い合わせ



東横エルメス 計測技術部 TEL (03) 5829-6088
東横エルメス 営業部 TEL (03) 5829-6088